

(参考資料)

神戸市立工業高等専門学校の主な取り組み

若年者人口の減少や昨今の情報分野を中心とした科学技術の進歩など、高等専門学校を取り巻く状況の変化をふまえ、主に以下の4項目の取り組みを進める。

(1) 学科編成・教育組織の再編

多様化・高度化する社会の要請に応えうる高度な技術者の輩出を目指し、現在の教育カリキュラムや教育内容等を検証し、情報系学科の新設を含む学科編成や教育組織の再編を進める。

①取組状況

No	項目
1	再編後の学科構成・教育組織及びカリキュラムを検討中 →特別外部評価委員会の意見を聴取した(4/28)。将来検討委員会にカリキュラム委員会を設置した。
2	情報分野の専任教員の公募中(公募期間:6/22~8/28)

②取組予定

年度	項目
2023	学科構成及び教育組織の再編方針を決定
2024	①文部科学省との事前相談、認可申請・届け出の準備 ②大学改革支援・学位授与機構に「大学・高専機能強化支援事業」助成金の交付申請 ③情報分野の専任教員を先行採用

(2)アントレプレナーシップ教育の推進

2023年度中に、創造デザイン工房(仮称)の設置をはじめとする「神戸高専アクティブチャレンジ人財育成事業」をスタートさせ、ハード・ソフトの両面からアントレプレナーシップ教育を推進する。

①取組状況

No	項目
1	専攻科棟1階創造デザイン工房(仮称)用の機器調達や電源工事等を実施中
2	「スタートアップ研究会(仮称)」設立に向けて検討中

②取組予定

年度	項目
2023	①創造デザイン工房の全面供用開始 →機器調達や電源工事の進捗に合わせ、9月～12月に順次設備納入し、1月に一部供用開始、3月に全面供用を開始する。また、供用開始までに技術職員の雇用など、工房運営体制を構築する。 ②「スタートアップ研究会（仮称）」の設立 ③外部講師による講演会の検討
2024	①「スタートアップ研究会（仮称）」の本格稼働 ②各種コンテストへの参加促進策の検討

(3) 産学連携テクノセンター（仮称）の設置など産学官連携機能の強化

神戸高専には他高専が保有するような産学連携拠点施設や体制が無く、企業からの技術相談等に対し組織的・適時の対応が難しい状況であるため、産学官連携機能の強化に向けて、産学連携テクノセンター（仮称）の設置など、必要な施設・体制を検討する。

①取組状況

No	項目
1	産学連携拠点の整備に向けた調査を実施中

②取組予定

年度	項目
2023	産学連携拠点の整備に向けた調査
2024	産学連携拠点の整備に向けた方針を決定

(4) 実験実習設備の充実更新や教育 DX の推進など教育研究環境の向上

新たな時代を担う技術者の育成と安全確保のため、早急に基盤的設備の充実更新を図る必要がある。また、2024年3月のリース機器の更新に合わせ、校内全体への Wi-Fi 環境整備を進めるなど教育 DX を推進する必要がある。これらに対応するため、実践的・創造的な技術者の育成にふさわしい教育研究環境の整備を進める。

①取組状況

No	項目
1	実験実習設備の充実更新について、安全性の観点やカリキュラムや実験実習テーマの変更との関連性などに重点を置き、整備計画（5か年）を策定した。 →2023年度分（予算 106,000 千円）について調達手続きを順次実施中
2	教育 DX を推進するため、認証基盤の整備や BYOD の導入などに向けてリース機器更新契約の仕様書を作成中

②取組予定

年度	項目
2023	①実験実習設備整備計画に基づき 2023 年度分を整備（年度末まで） ②リース機器更新契約の締結（契約期間 5 年：2024 年 3 月～2029 年 2 月） →校内全体 wi-fi 環境、認証基盤の整備が完了（2024 年 3 月）
2024	①実験実習設備整備計画に基づき 2024 年度分を整備 ②BYOD の全校推奨を開始

特別外部評価委員会について

【設置趣旨】

社会の変化に柔軟に対応し、多様化する社会の要請にも応えうる高度で実践的な技術者を今後も継続的に輩出していくため、「特別外部評価委員会」を設置し、学科再編や教育カリキュラムの改革方針などについて、外部有識者の方々からご意見・ご提言をいただく。

【開催日程】

令和4年7月、令和5年4月、9月（予定）

【委員一覧】

委員長	益 一哉	東京工業大学長
委員	尾上 孝雄	大阪大学理事・副学長（大学院情報科学研究科 教授）
	富山 明男	神戸市産業振興財団理事長、神戸大学大学院工学研究科教授
	玉井 伸三	東芝三菱電機産業システム株式会社技監
	多田 章彦	川崎重工業株式会社人財開発課長
	貝塚 尚美	株式会社神鋼環境ソリューション分析試験室課長
	金治 英貞	阪神高速道路株式会社執行役員



神戸高专は「全学的なスタートアップマインドの醸成」と「コアなスタートアップ人財の育成」の観点からアントレプレナーシップ教育の強化に取り組む。学生の創造活動（造形、加工、解析・設計）に必要な各種設備を備えた「創造デザイン工房」の設置や、「地域産業界・企業団体・神戸市各部署との連携」を通じて、学生の主体的な活動・取組みを持続的かつ確実にサポートする体制を整備する。

全学的なスタートアップマインドの醸成

正課教育: **学科横断型PBL科目の開設【新規導入】** (所管:教務主事室)
現在、学科ごとに独自のPBL教育を実施

4月~5月

講習: **創造デザイン工房**

スタートアップ必須の
モノづくり技能講習

講義: **起業論・創業論**

成功する起業家が有する
問題発見能力の涵養

講演: **起業家など講演会**

卒業生など学生に身近な
存在の講演により、企業
マインドの定着を図る

6月以降

演習: **協働課題解決演習**

価値創造マインドを有して卒業

機械 電気 電子 応用 都市

3年次: **学科横断PBL**

工学 工学 工学 化学 工学

高専入学

3年生(240人)を
1班7名程度に分割
神戸高专の全教員が
(専門問わず)指導

中間・最終
成果発表会

優れた成果
コアなスタート
アップへ移行

起業家・
企業家
の助言、
審査協力

“まち”の抱える課題など情報提供

コアなスタートアップ人財の育成

課外教育: **スタートアップ研究会(仮称)【新規設立】** (所管:学生主事室)

学年・学科を問わず、起業を含むコミュニティ形成と自主的な活動の促進

1・2年生への支援:

- ・学生の関心を聞き取り調査し、当該分野のコンテストなど紹介
- ・モノづくり技能講習により、創造デザイン工房の早期利用

顧問: 2~4名

各種コンテストに参加
DCONなどのコンテストへ
の挑戦をハードとソフトの
両面で支援

起業の
可能性

起業への支援(計画)

神戸市新産業創造課、
神戸市産業振興財団と
連携し実現を支援



連携企業による技術指導

地域産業界・企業団体・神戸市と連携

KOBE
CITY OF DESIGN

産官学連携プラットフォーム
を構築しやすい環境を有する

神戸高专 産金学官
技術フォーラム
(1991年~)

「神戸市立の高専」の
利点を最大限活用

市部局・外郭団体と連携

神戸市新産業創造課
スタートアップ専門部署

経済観光局
地域産業の
活性化企画
神戸市産業
振興財団

神戸市機械金属工業会
神戸信用金庫
新産業創造研究機構
神戸商工会議所
兵庫工業会

連携

先輩経営者
との対話の
機会創出

神戸市内スタート
アップ企業ヘイン
ターンシップ促進

地域産業が抱える
課題の情報提供
など

ひょうご神戸スター
트업・エコシ
テムコンソーシアム

事業の確実な推進にむけ、
連携担当コーディネータを配置

創造デザイン工房(仮称)の設置

造形工房

3Dプリンタ
精密加工から大型の試作品まで対応

加工工房

レーザー加工機

解析・設計工房

ワークステーション
動画配信スタジオ

BYODによる、工房外でのデジタル創作活動環境整備も別途検討 (所管:事務室)
学生の創作活動を支援し、かつ**コンテンツ制作・発信力を強化**
学生活動に対する**クラウドファンディング実施の検討** 専門技術職員
2名配置

寄付制度(一部検討中)
個人:神戸市ふるさと納税
法人:大学法人へ直接寄付

持続可能な
体制の構築

大阪公立大学高専
実施事業と、相互
連携(検討中)

